

平成30年度 近事研学校事務セミナー報告

「学校が地域価値を創造する」 ～地域よし、学校よし、子供よし、未来よし～

講師 文部科学省 研究開発局 開発企画課長 木村 直人 様

平成31年1月11日、大阪府教育会館（たかつガーデン）にて、学校事務セミナーを開催しました。講師に、文部科学省 研究開発局 開発企画課長 木村 直人様をお招きして、『「学校が地域価値を創造する」～地域よし、学校よし、子供よし、未来よし～』の演題でご講演いただきました。

「なぜ、学校は地域と共に動かなければならないのでしょうか。それを分かったうえで、私たち学校事務職員が何をしていくべきかを考えなければいけません。」という問いかけから講演が始まりました。

子供たちはもちろん周囲の人たちの“夢”“希望”“絆”“愛”があつてこそ、子供の健全な育ちや学びが活性化されていきます。それは、即ち子供たちを取り巻く人たちの「思い」が子供たちの成長には必要不可欠ということでもあります。しかし、一人で「思い」続けても事は思うように運びません。それぞれの「思い」を共有することで物事は動き出します。講演の前半では「思い」について、隣の参加者と未来を生きる子供たちに伝えたいメッセージを紹介し合う場面もつくっていただき、参加者の当事者意識も芽生え始めました。

学校は、地域住民や家庭または行政から様々なクレームや要望などがあがってくると、それぞれに対応しなければならなくなり、現場の多忙化へと繋がっていきます。しかし、いくら校内の業務改善やマネジメント機能を発揮したところで多忙化解消には限界があります。そして、学校の多忙化は子供たちにも影響を与えてしまいます。果たして、この状態は「思い」を共有していると言えるのでしょうか。それぞれの「思い」がバラバラな方向へ向いているため、どこを目指しているのか、迷走状態であると言えるでしょう。「思いを共有するには、お互い膝をつき合わせて対話をする必要があります。そしてその代表例が、コミュニティスクール（学校運営協議会制度）です。

地域とともにある学校づくりでは「学校」「家庭」「地域」「企業」など多様な主体と協働しながら教育活動を進めなければなりません。協働とは協力して働くことではなく、同じ目的（目標）のために対等の立場で協力して共に働くことです。目の前の課題や未来への目標を共有しながら取り組む必要があります。

今後、地方消滅やSociety5.0という想像しがたい時代がやってきます。30年後、地域のコミュニティはどうなっているのでしょうか。今が良くても、大人が子供たちのために残したいコミュニティであり続けなければ衰退してしまいます。また、AIが発達すると私たちの生活や仕事が様変わりします。そのような中で生き生きとした人生を送っていくには、やはり、人間にしかできないクリエイティブな発想が必要になります。学校だけ、地域だけ、保護者だけが「思い」を語るだけでは同じ方向を向くことができません。お互いが子供の未来を熟議し、今とのギャップに気づき、今できること、これからできることをバックキャストで考えることで、到達目標が明確になります。目標が定まれば、手段と方法は後から自ずとついてくるので、まずは目標をしっかりと共有することが必要不可欠であるということを教えてくださいました。

最後に、木村様より大人が子供たちのためにしてほしいことを4つ挙げられました。1つ目は「Vision」 どんな子供に育てたいかという未来を描くこと。2つ目は「Mission」 描いた未来に対して何をするのか。3つ目は





「Passion」 思いをもってやっていくこと、そしてそれを周りに伝えること。4つ目は「Innovation」 思いをもって大胆に変えること。その積み重ねが変化につながる。これらを4つ葉のクローバーに見立て、「4つ葉のクローバーを探すのは大変ですが、探すのをやめたら見つかりません。子供たちの幸せのために探し続けてください。」とエールをいただきました。そして、「まさにその舞台は学校です。では、学校事務職員として何をすべきなのかは次の機会にお話ししましょう。」と締めくくられました。

私は、この講演で学校の果たす役割の重要性を痛感したと同時に、色々なことができそうだという無限の可能性を感じました。学校事務職員として何をすべきかのお話も気になりますが、これは思いをさまざまな人と共有することでも見えてくるのではないかと、思いました。当事者意識をもってしっかり考えていきたいと思えます。

<文責 都志 哲平>



幹事会 報告

平成31年1月11日（金）に、たかつガーデンにて幹事会が行われました。会計規程、近畿地区公立小中学校事務研究大会開催規程、「研究大会実行委員会」細則の一部改正が承認されました。

近畿地区公立小中学校事務研究大会について

2020年8月に、第14回近畿地区公立小中学校事務研究大会を大阪で開催します。

近事研主催の大会は、2014年の神戸大会から6年ぶりとなります。そして、この年はTokyo 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会と同じ開催年で、さらに近事研創立30周年記念大会となります。

研究大会実行委員、調査研究部員、分科会担当研究会それぞれが大会成功に向けて動き始めています。応援・ご協力よろしくお願ひします。

(今後の大会予定) 2022年滋賀大会

Information !

2019年8月27日（火）にサマーフォーラムを開催します。企画進行中ですので、楽しみにお待ちください。

